

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年01月28日

計画の名称	下関港におけるウォーターフロントの賑わい創出とＣＮＰの実現（地域活性化）														
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度　（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	下関市														
計画の目標	・ 下関港港湾脱炭素化推進計画に従い、下関港の脱炭素化を推進する。 ・ ウォーターフロント空間の賑わいの向上を図る。 ・ 港湾施設の整備により、下関市の経済・産業等の基盤を支える国際物流拠点のさらなる発展を目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		2,702	A	2,696	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0.22	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7	R9	R11
1	ＣＯ２を12万トン削減するを達成する。			
	下関港港湾脱炭素推進計画における藻場造成によるＣＯ２の削減目標値　12万トン	0万トン	万トン	12万トン
2	歩行者通行量（休日）			
	立体駐車場からウォーターフロントに訪れる休日の歩行者通行量を5017人（R6実測）から7095人（R11）（推計）に増加させる。 当初現況値5,017人はR6実測値	5017人	人	7095人
3	新港地区の産業振興用地の分譲率31%(R6) から100%(R11)に増加させる。			
	新港地区の産業振興用地の分譲率 当初現況値は31%はR6実測値	31%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	下関市	直接	下関市	拠点	建設	海浜整備	海浜整備 L=120m	下関港福浦地区		■	■	■	■	371	1.05	-
	A02-002	港湾	一般	下関市	直接	下関市	拠点	改良	岸壁（-12m）改良整備	あるかぼーと岸壁（-12m） L=335m（取付含む）	下関港東港地区	■	■				132		策定済
	A02-003	港湾	一般	下関市	直接	下関市	拠点	改良	緑地整備	緑地 A=1.0ha	下関港東港地区	■	■				600	3.27	-
	A02-004	港湾	一般	下関市	直接	下関市	拠点	建設	緑地整備	緑地 A=8.0ha	下関港新港地区	■	■	■	■	■	1,292		-
	A02-005	港湾	一般	下関市	直接	下関市	拠点	改良	緑地整備	緑地 A=1.0ha	下関港東港地区 ・唐戸地区	■	■	■	■	■	150		-
	A02-006	港湾	一般	下関市	直接	下関市	拠点	改良	岸壁（-5.5m）改良整備	西山4号岸壁（-5.5m） L=19 5m（取付含む）	下関港西山地区	■	■	■	■	■	151		策定済
											小計						2,696		
											合計						2,696		

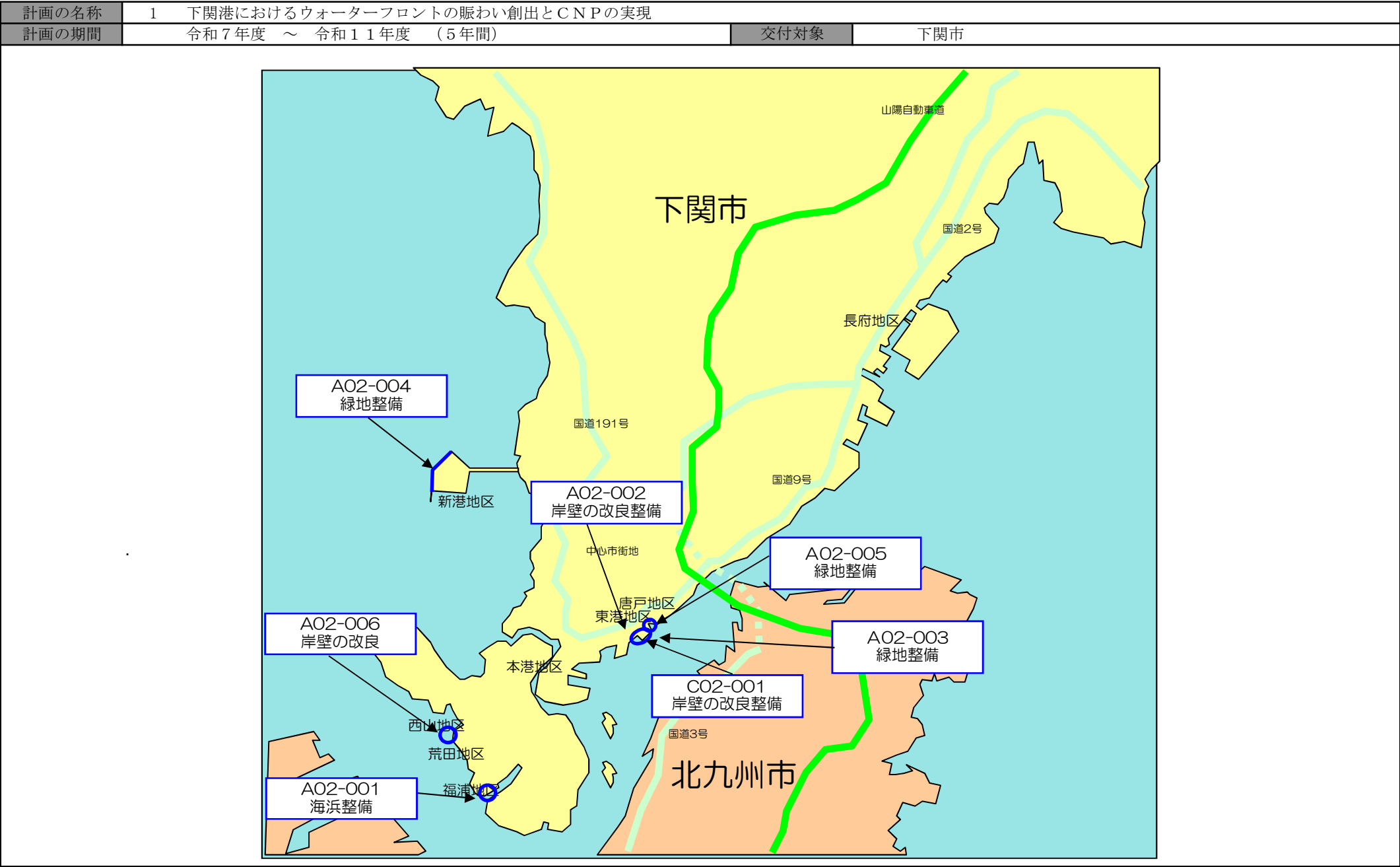
C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	一般	下関市	直接	下関市	拠点	改良	岸壁（-12m）改良整備	ポラード照明 L=335m（取付 含む）	下関港東港地区	■	■				6		-
		下関港東港地区においては、令和7年秋に新たにホテルが開業することとなり、夕方から夜間にかけての来訪者の増加による地域活性化が図られる。																	
											小計						6		
											合計						6		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	76				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	76				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	56				
翌年度繰越額 (f)	20				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 下関港におけるウォーターフロントの賑わい創出とCNPの実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等の適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針（下関総合計画）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。（社会資本整備重点計画、下関港港湾計画）	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施のための環境整備が図られている。	